実践し省察するコミュニティ

～2年間の学びの流れと仕組み～

福井大学連合教職大学院は、
21世紀の学校教育を担う教員の
専門性を高めるために、
様々な取り組みを通して
学びを深めています。
1年間の活動を紹介します。

福井大学大学院　連合教職開発研究科
福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学（連合教職大学院）

教職大学院　2年間の学びの流れとしくみ

	4月	5月	6月	7月	8月
年間行事とその概要	**月間合同カンファレンス（4P）** 県内外の現職教員院生、県外からの派遣教員、学部卒院生を交え、互いの実践やこれからのビジョンについて語り、聴き、省察を深めます。 **開講式（3P）**		**ラウンドテーブル（5P）** 県内外、海外の教育関係者が集い、テーマに沿ってセッションを展開します。院生も実践報告を行います。		**夏期集中講座** 実践記録・組織実践の執筆を行
現職教員院生と学部卒院生の学びのイメージ（1、2P）	**現職教員院生** 院生はそれぞれの勤務校で、授業づくり・授業実践・大学教員のスタッフは、各勤務校にチームとなって自分の現場に基づき考えることで、優れた実践と研				
	ストレート院生 拠点校、連携校におけるインターン生としての活動毎週行う、週間カンファレンスでは、インターン先で				

通年

学校での実践を支える

校内研究会

拠点校方式を採用する福井大学では、大学教員がチームとなって院生が所属する学校に出向き、授業づくり・授業実践・授業研究・学校組織マネジメントといった学校にかかわる様々なことについて支援します。自分の現場に基づき考えることで、優れた実践と研究が生まれていきます。

また、授業研究・教職専門性開発コースの院生は、毎週木曜日に一堂に集まり、インターン先での学びの振り返りや院生が企画したテーマ毎のカンファレンスで自分の思いを語り、聴く、話す場を設けています。さらに、公教育改革の動向等についての理論を学びます。

実践事例と理論に基づいた省察と再構成を積み重ねながら、学校における組織的・協働的な取り組みにより、教育実践力と組織マネジメント力を培います。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(6P) 論の検討、 います。	**月間合同カンファレンス(7P)** 県内外の現職教員院生、県外からの派遣教員、学部卒院生を交え、互いの実践やこれからのビジョンについて語り、聴き、省察を深めます。		**冬期集中講座(8P)** 実践記録・組織論の検討、実践の執筆を行います。M1生は“1年間のまとめ”、M2生は“長期実践報告”に向かっていきます。		**ラウンドテーブル(9P)** 県内外、海外の教育関係者が集い、テーマに沿ってセッションを展開します。院生も実践報告やポスター発表を行います。 長期実践研究報告会(9P)	学位記伝達式(10P)
授業研究・学校組織マネジメントといった自分が設定したテーマに取り組みます。 出向き様々な支援を行います。 究が生まれていきます。						
を通じて、教師としての学びを深めます。 の学びの振り返り、院生で決めたテーマや公教育改革の動向についての理論を学びます。						

学部卒院生と現職教員の振り返り

学部卒院生によるインターンの学びの振り返り

私立園3園の合同保育研究会

実践と理論の往還で学びを積み重ねる

4月

開講式

福井大学教職大学院に入学された方々が初めて一堂に会します。まだ肌寒い福井の春に思い思いの熱い志を抱きながら、これからの教育の在り方について、そして自らの在り方について、深めていくことになります。

学びの捉え直しを始める

4・5・7月

月間合同カンファレンス

4 月のテーマ
教育改革の展開を踏まえ、長期的な実践の展開を開く
～世代を結ぶ協働探究のコミュニティ その出発サイクル～

5 月のテーマ
学校での協働研究の現状を踏まえて、これからの展望をひらく

7 月のテーマ
前期の展開をふり返り，課題をとらえ直す
～夏のサイクルに向けて，課題を探っていく～

教職大学院で月に１度行われるカンファレンスでは、教師としての専門性を高めるために、院生と教員が一つのグループになって、互いの実践やこれからのビジョンについて語り、聴き、省察を深める時を用います。東京サテライト校、岐阜、奈良といった多様な拠点とオンライン上で繋がりながら、異なった場で同じ時を共有しています。

院生が毎月１回頭を突き合わせてグループで話し合う

他者の優れた実践レポートを読み込んで学ぶ

合同カンファレンスで学びを省察し合う

6月

ラウンドテーブル

Summer Session

毎年、6月(Summer Sessions)と2月(Spring Sessions)に職種・校種を超えて、また福井県内外の人や海外の人を招いて教育の展望を捉えかえす場としてラウンドテーブルを開催しています。

1日目は、教師教育、コミュニティ、国際といったテーマをもとにいくつかのゾーンに分かれて、他領域の実践者が福井大学に集まり、またオンラインで繋がりながらセッションを展開します。午前には教職大学院としての特別セッションが実施され、午後にポスター発表、シンポジウム、フォーラムと続きます。また、小中高校生によるポスター発表も同時に開催するなど、年代を超えた学び合いの場になっています。

2日目は、朝から年齢、校種を超えたグループで実践報告をもとにしたクロスセッションでの語り合い、聴き合いを行います。実践記録の歩みの中にある場面、言葉、表情、行為などを振り返り、参加者同士で実践を共有することで、実践の跡づけをし、実践への問いを深めていきます。

院生の皆さんも、ポスター発表や実践報告に参加し、他者の実践から多くのことを学んでいきます。

ラウンドテーブルで学びを深める

院生が３期にわたって自分の実践と理論とを突き合わせる

7·8月

夏期集中講座

仲間とともに自らの実践を振り返る

学校行事等に配慮し、夏期と冬期に集中的な講座によって学びを深めます。様々な実践記録や理論に触れながら、自らのこれまでの実践を長期の視点で捉え直し、さらにそれを他者と共有することを通して、教師としての専門性を高めていきます。

文献を読んで理論的に捉え直す

夏期集中では 3Cycle で取り組みます。
Cycle1【実践記録を読む】長期にわたる学習の展開 / それを支える教師の実践とその組織
Cycle2【実践の架橋理論の検討】実践コミュニティ / 学習する組織を培うプロセスマネジメント
Cycle3【実践の事例研究とその方法】実践の展開・実践者の力量形成・コミュニティと組織のプロセスを捉え直す

実践と理論の往還で学びを問い直す

10・11月

月間合同カンファレンス

10 月のテーマ
世代（若手・中堅・ベテラン・管理職）を越えて学び合う

11 月のテーマ
他校の研究から学び、他校の研究を支える

長期実践研究報告及び１年目のまとめに向けて構想していきます。

岐阜、奈良、東京サテライトの離れた会場を Online で繋いで学びを共有

合同カンファレンスで学びを捉え直す

長期実践研究報告を書くことの意味を確認し合う

12・1月

冬期集中講座

冬期集中講座では、これまで取り組んできた実践の歩みを振り返り、その展開を記録として跡付けることを通して、自身のアイデンティティの変容やコミュニティ発展のプロセスを探ります。記録をじっくりと吟味し、他の院生やスタッフと語り合うことを通じて、それまで埋もれていた文脈や実践の新たな価値が浮かび上がってきます。こうした協働的な営みを通じて、長期実践報告書が紡ぎ出されていきます。

長期実践研究報告の作成に向けて省察を深める

お互いの作業を重ね合わせ、相互に支え合う

これまでの学びの価値を探る

2月

長期実践研究報告会ラウンドテーブル

院生が 2 年間の学びをじっくりととらえ直し、長期の実践研究報告として書き上げたことを語り合う場が長期実践研究報告会です。修論発表会のようなイメージを受けがちですが、福井大学連合教職大学院では、実践を小グループでじっくりと語り合い、様々な角度からさらなる練り上げを図っていきます。「授業改革を目指す教師集団の一員として」「学校力を高めるチーム力」といった学校改革に取り組んだ姿、改革の取り組み、「一人の“自律”した教師を目指して」『つながり』の中で育つ子どもたちを支える教師を目指して」といった自分自身の成長をとらえ直したことなど、様々な実践の足跡が報告され、熱い語り合いが繰り広げられます。報告者はここでの話し合いを踏まえてさらなる省察を加え、2 月のラウンドテーブルにて最終報告を行います。

自ら実践を語り、他者の実践から学ぶ

学びの集大成

3月

学位記伝達式

３月末日、福井大学連合教職大学院の学位記伝達式が行われます。再出発のカンファレンスも行われ、これまでの２年間を振り返るとともに今後の展望を語り合います。カンファレンス後は謝恩会を行い、新たな旅立ちを皆で祝います。

学校現場での実践へ

多様な拠点・メンバーが
各学校にて実践・探究・
省察を進めていく
学校拠点の教職大学院

各拠点を基軸にした
分散型のコミュニティが
多重に編まれることで
院生の学びを保障しています。

東京サテライト

福井大学

富山国際大学

岐阜聖徳学園大学

2024 年度より
富山国際大学を迎えた
新たな連合がスタートしました。
学び合うコミュニティ・
ネットワークのさらなる深化に
向かいます。

お問い合わせ
福井大学大学院　連合教職開発研究科
福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学（連合教職大学院）
〒910-8507　福井市文京 3-9-1　TEL：0776-23-0500（代）
E-mail：dpdtrengo@ml.u-fukui.ac.jp